

会長メッセージ

大阪市桜宮高校のバスケットボール部における暴力行為から、柔道連盟の女子オリンピック選手からの告発等、今、スポーツ界における指導のあり方が問われております。

弓道連盟としても、他人事ではなく、真剣に取り組んでいく必要があるということで、今年の講師研修会では、日本スポーツ仲裁機構から、理解増進事業専門員の小川和茂さんに、ご講演をいただきました。いずれ機会を見て、紹介していきたいと思っております。

なにわともあれ、指導には、信頼関係が大切です。肝に銘じて、日々の指導にあたっていきたいものです。

奈良県弓道連盟 吉本清信

◆平成24年度称号者研修会

2月23日・24日の2日間、称号者研修会が橿原公苑弓道場において開催されました。受講生は、錬士32名・教士12名計44名（昨年と同数）でした。

講師は青森県連会長であり全日弓連の理事でもある川村光良範士八段。一昨年に続いて二度目の指導をいただくことになりました。

吉本会長からの講師紹介で、『川村先生は、私が全日に出場し始めた頃にすでに最高得点を獲得されているなど輝かしい実績をお持ちの方で自分の目標でもあった。この機会にそれぞれ「何が違うのかを感じ、何かを得るように」とのお話がありました。

川村先生からは、『私は全日弓連として指導しに来たのではない。一緒に研修するつもり。弓道はこれが絶対とかこれで良しというところがない。まず「今年の目標」を立て具体的に組み込んで欲しい』とのご挨拶があり研修が始まりました。

射技研修では、縦の線・足踏み・首筋と矢の十字の重要性、体全体を使って割り込み休まず伸び続け15間先ではなく30間先まで飛ばすつもりで引きなさい、等々ご指導いただきました。

(右上へ)

私の川村先生に関する情報は、二十数年前、全日本選手権での射を見た道場の先輩から、「青森の川村という選手は凄い。離れで胸が割れて道着が左右に膨らむのが分かる」という話をきいたことに始まり現在に至ります。それにしましても、二日目の朝一番には、川村先生・吉本先生による一ツ的射礼を拝見することができましたし、他地連からは恐らく羨ましがられるであろう弓引きにとってはこの上もなく贅沢な研修を受講することができました。

この有難さ・喜び・誇りを心に持ちながら精進していかなければ、と思った研修会でありました。(指導部：山本元祥)

称号者研修会に参加して

今回初めて称号者研修会に参加させていただき、弓の世界がさらに深まり、広がったように感じました。

講師の川村先生から直接ご指導いただいた内容はもちろん、先生が指導される様子を見取り稽古する中でも沢山の発見があり、今まで私が見て感じていた世界とは、また違った醍醐味を垣間見られたように思います。まるで初めて錬士の審査を受審した時の瑞々しい感覚が蘇ってくるようでした。

中でも、「気脈」と「覚悟」という2つの言葉は、今も心の中に鮮明に残っています。形どおりに引けているが物足りない。もっとガムシャラに。躍動感のある弓を！、「介添は射手に気脈を送るのが役目。」「入場前に覚悟を決めて道場(聖域)に入る。見ている人にはそれが伝わる。」というご指導(※私なりの解釈です)により、射手や介添の心構えや覚悟もまた、見る人にきちんと届くのだということに今さらながら驚き、あらためて「心気の働き」の重要性を意識することができました。

また、夕食後の講義では、弓道の修練における師弟の関係や弓道教室のあり方について触れられる一幕や、白井・赤松両受講生の「錬士になって」というお話から、自身の修練と今後の弓道教室の運営について考える機会を持つことができました。

今後はご指導いただいた内容を道場の仲間と共有しながら、キレイに並べられた幕の内弁当のような弓ではなく、「のるかそるか」の躍動感溢れる自分らしい弓を念頭に、研鑽に励みたいと思います。

なお、今回の研修では、閉講式で「講習会の準備は受講生がするもの」というお話もありました。当たり前のことなのですが実践出来ておらず、指導部の先生方にご負担をおかけしてしまったことを反省しています。謙虚さを胸に刻んで、次回に活かしたいと思います。(大西洋亮)



◆第14回 奈良県弓道団体選手権大会

(兼 全日本勤労者弓道選手権大会 県予選会)

日時：平成25年2月17日(日)

場所：橿原公苑弓道場

競技種目：団体(3人) 近的競技

参加チーム数：49チーム(145人)

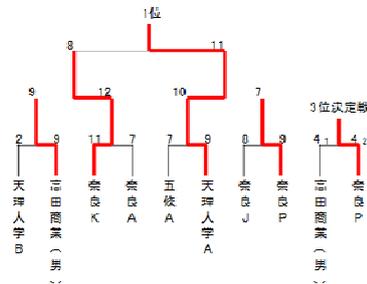
本大会は、奈良県の競技の内、一般と学生が一緒になって競う数少ない競技会である。当日は、寒い一日ではありませんでしたが、一般は学生に負けじと、また、学生も一般に負けじと熱戦が繰り広げられました。競技会結果は、以下の通り。

○予選通過チーム

天理大学A	20中	(西村知浩、向本啓太、檜尾涼)
奈良K	19中	(山口亮二、辻本元威、吉田誠宏)
奈良P	18中	(林秀子、林万智子、岡本圭子)
天理大学B	18中	(井上眞希、小川菜摘、村上亜里)
五條A	17中	(新子紘司、新子修平、平井雄樹)
奈良J	16中	(徳田四郎、天野孝雄、伊藤浩)
高田商業(男)	15中	(當麻直哉、松村怜、福岡良剛)
奈良A	14中	(白井礼子、揚田よう子、松村由喜子)

○決勝トーナメント

- 1位：天理大学A
- 2位：奈良K
- 3位：奈良P



○全日本勤労者弓道選手権大会出場事業所

シャープ株式会社 の皆さんです (競技部)

◆地連審査講習会

平成25年3月3日(日) 橿原公苑弓道場において、西浦主任講師のもと、地連審査講習会が行われました。

とても寒い桃の節句でしたが、中学生36名、一般11名の受講生47名全員、寒さに耐え、真剣に取り組みました。立ちを組み合わせながら、体配での注意点、失の処理、入退場の練習。四・五段受審者には肌脱ぎ、襷がけの練習と、とても有意義な講習会となりました。

最後に、西浦主任講師より、弓は技術だけではなりたない。弓に対する心が大事。自分を律する心、自律をもって弓に対する。体配がいかに大切であることを教えていただきました。

午後からは指導部の研修会も行われ、一つの、射技研修と、充実した一日となりました。(指導部)

◆U-15強化練習会(中体連)

12月1日、8日、22日、1月5日、12日の5日間、香芝中学校、橿原中学校の弓道場および橿原公苑弓道場においてU-15強化練習会を行いました。各中学校から4名の選手を選出し、指導部西浦範光先生をはじめ、指導部の先生方、国体強化の選手の方々に体配、射技の指導をしていただきました。中学生も普段の練習とは一味違う雰囲気を楽しむことができたようで、先生方の指導に対しても一生懸命に応えようとしていました。大変寒い中の練習会にも関わらず、中学生のためにご尽力下さいました、西浦先生はじめ諸先生方、本当にありがとうございます。この場を借りてお礼申し上げます。以下は参加生徒の感想です。

『U-15に参加して』

私たちはU-15に参加して、普段教わらないことや、知らなかったことなどを教えていただきました。

体配では、自分が思っていたよりできていなくてとても勉強になり、また、直すのにとっても苦労しました。特に、膝を活かすのはとても難しく、まだ自然にはできないので、意識してがんばりたいです。

射技では、自分の弱点やその改善ポイントを教えてもらいました。多すぎて大変だけど、一つ一つゆっくり改善していきたいです。学校での練習のときには、注意されたところを気にかけて取り組むようにしています。改めて、自分にはやるべき事がたくさんあるなど実感しました。

また、U-15では他校の人との交流もすすめることができました。新しい友人ができ、その人も早気や押手などの課題を持っていて、「自分の学校ではこうだ」と言い合ったり、教え合ったりしました。

私たちは、このU-15に参加して本当によかったと思いました。先生方に正しいことを教えていただき、とても勉強になりました。また、普段は見られない他の中学校の人の射形も見ることができ、すごく良い経験になりました。このU-15に参加して学んだことをこれからの練習で意識し、いい射形になれるようにがんばりたいです。私たちに良いアドバイスをいただいた先生方に感謝しています。本当にありがとうございます。

橿原市立大成中学校 2年 堀次七菜・二之宮由麻・中野愛海・平井綾香 (報告：中体連 藤原)

◆競技会申込みのご案内

大会名：第10回奈良県弓道総合選手権大会

日時：平成25年4月14日(日)

会場：橿原公苑弓道場・遠的場

参加資格：奈良県弓道連盟の一般会員(有段者)

申込み〆切日：平成25年4月1日

上記大会を実施いたします。詳しくは、大会要項を各支部に配布いたします。多数の参加をお待ちしております。

(競技部)